



SSTボードゲーム なかよしチャレンジ

カラフルなボード盤を使ってソーシャルスキルを学びます。学校への行き帰りをテーマにしており、サイコロを振ってマスを進み、イベントをクリアしていく形式はすぐろくそのもの。イベントの多くは質問カードに答えることで、質問内容は「学校で起こる問題」ですので、子ども達は遊びの中でソーシャルスキルトレーニングを進めることができます。

「なかよしチャレンジ」は、質問カードの答えのほとんどが3択になっています。そのため、子どもから何らかの回答を導き出すことができるのが最大の特徴です。また、質問カードは難易度別に分かれていますので、子どもの発達段階に合わせてカードをチョイスしてください。

使い方

朝のSHRで数枚のカードについて皆で答えを考えたり、5～6名のグループに分かれてボードを用いてゲームを進めることができます。質問カードは学年別・学校の場面別に分かれていますので、これらを組み合わせることによって、子どもの発達度合いに応じた使用が可能です。正解を覚えるのではなく、「これをやったらどうなるだろう？」という想像や考える力を育てることが目的なので、活動中に指導者が介入していくことが大切です。

¥8,400 (税込)

参加人数：2名～6名 (個別での使用も可)

ボード版1セット (パズルタイプ)・質問カード 200枚
コマ6個・サイコロ1個・解説書

寸法 / ボード：400×573mm 外箱：220×320×50mm

監修：本田 恵子 (早稲田大学教育学部教授)
著者：本田 恵子・鈴木 眞理 (臨床心理士)

カード質問例

ななみちゃんは知らない人に道案内をたのまれました。どうしたらいいですか？

- ①わかれば、その場で道を教えてあげる
- ②だまってにげる
- ③その人の行きたい所までつれて行ってあげる

かけさんの九九を言いまちがえたら、友だちがばかにしました。くやしくてたまりません。どうしますか？

- ①しんごきゅうして落ち着く
- ②その子に「おまえだってまちがえたじゃん」と言い返す
- ③できるようになった自分をイメージする

かず君は、そうじ中に遊びに行ってしまう。同じはんの子が、もんくを言い始めました。どうしたらいいでしょうか？

- ①みんなも遊びにさそう
- ②あやまる
- ③みんなの話を聞く

黒板に男の子たちが、教室にいない友達の名を書いています。どうしたらいいですか？

- ①黒板消しで消す
- ②「いやな気持ちがあるから、やめてください」と言う
- ③見えなところに行く

みずずちゃんは、サッカーがしたいのに「女はダメ!」と入れてくれません。どうしたらいいですか？

- ①入れてくれそうな子にたのむ
- ②そばで見ながらおうえんする
- ③むりやり入る

青いマスの部分は
マスに書いてある指示に
従ってください。



スタート・ゴール位置です。
家からスタートして学校へ行き、
戻ってきます。
サイコロを振って、
出た目の数だけ進みます。

カード置き場です。
同じ絵柄のカードを
置きます。

絵の描いてあるマスは
同じ絵柄のカードを引いて
質問に答えます。

活用場面

●グループでの特別支援教育や道徳、総合学習での友達作りの時間に。●スクールカウンセリングや特別支援における個別指導の際のコミュニケーションに。

カードに
含まれる
ソーシャル
スキル

ストレスマネジメント
助けを求める
アサーション
対立解消